

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公開番号】特開2008-147717(P2008-147717A)

【公開日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2008-025

【出願番号】特願2006-328845(P2006-328845)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 1 0 7 A

H 0 4 N 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月7日(2009.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像管理装置と通信が可能な場合に、投入されたジョブの画像データ及びログ情報を前記画像管理装置へ送信して蓄積させる送信手段と、

前記画像データ及びログ情報を送信後、前記画像管理装置から蓄積完了通知を受信した場合に、前記画像データに対する処理を実行するよう制御する制御手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記画像管理装置と通信が不能の場合に、前記ジョブを保存し、前記画像データ及びログ情報の送信を繰り返すことを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記ジョブを実行する際にユーザ認証を行う認証手段を有し、

前記制御手段は、前記画像データ及びログ情報を送信後、前記画像管理装置から蓄積完了通知を受信し、かつ、前記認証手段によりユーザを特定できた場合に、前記画像データに対する特定の処理を実行するよう制御することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記ジョブは情報処理装置から投入され、前記画像データを暗号化するか否かの設定に応じて、前記画像データを暗号化する暗号化手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記暗号化手段の前段に、画像データを圧縮する画像圧縮手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項記載の画像処理装置。

【請求項 6】

画像管理装置と通信が可能な場合に、投入されたジョブの画像データ及びログ情報を前記画像管理装置へ送信して蓄積させる送信工程と、

前記画像データ及びログ情報を送信後、前記画像管理装置から蓄積完了通知を受信した場合に、前記画像データに対する処理を実行するよう制御する制御工程とを有することを

特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載の画像処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。